

平成23年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,603	2,717	114	(注1)
うち補正予算による追加	26	26	0	
施設整備費補助金	65	104	39	(注2)
うち補正予算による追加	65	63	△2	
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	16	24	8	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	17	17	0	
自己収入	388	374	△14	
授業料、入学料及び検定料収入	238	226	△12	(注4)
附属診療所収入	110	92	△18	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	40	56	16	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	77	16	△61	(注7)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	3,166	3,252	86	
支出				
業務費	2,990	2,870	△120	(注8)
教育研究経費	2,881	2,754	△127	
診療経費	109	116	7	
施設整備費	82	121	39	(注9)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	16	24	8	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	77	10	△67	(注11)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1	1	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	3,166	3,026	△140	
収入－支出	0	226	226	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、平成22年度繰越額を予算段階では過少に見積もったため、予算額に比して決算額が114百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。また、施設整備費補助金のうち補正予算による追加については、入札により予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者の減少により、予算額に比して決算額が12百万円少額となっています。
- (注5) 附属診療所収入については、主として院外処方増加等に伴い診療報酬が減少したこと等により、予算額に比して決算額が18百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として自動販売機の販売手数料が増加したこと等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究、受託事業及び寄附金の獲得が不調だったため、予算額に比して決算額が61百万円少額となっています。
- (注8) 業務費のうち教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が127百万円少額となっています。また、診療経費については、主として人件費が増加したこと等により、予算額に比して決算額が7百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が67百万円少額となっています。